【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成16年10月14日(2004.10.14)

【公開番号】特開2003-329995(P2003-329995A)
【公開日】平成15年11月19日(2003.11.19)
【出願番号】特願2003-62645(P2003-62645)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０２Ｆ　1/13
　Ｇ０２Ｆ　1/1333
　Ｇ０２Ｆ　1/13357
　Ｇ０３Ｂ　21/00
　Ｇ０３Ｂ　21/16
【ＦＩ】
　Ｇ０２Ｆ　1/13　５０５
　Ｇ０２Ｆ　1/1333
　Ｇ０２Ｆ　1/13357
　Ｇ０３Ｂ　21/00　Ｅ
　Ｇ０３Ｂ　21/16

【手続補正書】
【提出日】平成15年10月8日(2003.10.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光源からの出射光を、被照射面上に照射させる手段と、ＲＧＢに分光する分光手段と、これを合成する合成手段と、光を変調する液晶表示素子と、該液晶表示素子から出射した光を投射する投射手段とを有する液晶表示装置において、
前記液晶表示素子の入射側に配置される入射透明ガラスと、
前記液晶表示素子の出射側に配置される出射透明ガラスとを有し、
前記入射透明ガラスと前記出射透明ガラスとを、前記液晶表示素子の入射側と出射側に各々接着剤により、該接着剤による厚みが0.1mm以下で接着したことを特徴とする液晶表示装置。
【請求項２】
光源からの出射光を、被照射面上に照射させる手段と、ＲＧＢに分光する分光手段と、これを合成する合成手段と、光を変調する液晶表示素子と、該液晶表示素子から出射した光を投射する投射手段とを有する液晶表示装置において、
入射側の面が反射防止膜処理され、前記液晶表示素子の入射側に配置される入射透明ガラスと、
前記液晶表示素子の出射側に配置される出射透明ガラスと、
不用光を遮断する入射見切板と出射見切板とを有し、
前記入射透明ガラスと前記出射透明ガラスとを、前記液晶表示素子の入射側と出射側に各々接着剤により、該接着剤による厚みが0.1mm以下で接着し、前記入出射見切板内に配置することを特徴とする液晶表示装置。
【請求項３】
前記接着剤は、透明性ゼラチン状接着材であることを特徴とする請求項１乃至請求項２の

何れか一項に記載の液晶表示装置。
【請求項４】
前記入射透明ガラスと前記出射透明ガラスの厚さを、その表面に埃が付着しても、絵素の合焦時に該埃が結像しない厚さに設定したことを特徴とする請求項１乃至請求項３の何れか一項に記載の液晶表示装置。
【請求項５】
前記出射透明ガラスの出射面側に偏光子と位相板とを固着配置すると共に、前記出射透明ガラスの大きさｗ０と偏光子及び位相板の大きさｗ１の関係がｗ０＜ｗ１を満足することを特徴とする請求項１乃至請求項４の何れか一項に記載の液晶表示装置。
【請求項６】
前記出射透明ガラスの厚みは、前記出射見切板と前記液晶表示素子との距離より大きく構成されていることを特徴とする請求項１乃至請求項４の何れか一項に記載の液晶表示装置。